

緒言..... 276

第一章 拙著補訂..... 277

第二章 「末代観と末法思想」

第五章 「随分持戒と造悪無慚」

第六章 「興福寺の訴訟と専修念仏者への朝謹」

第二章 末代観の形成と表現

問題の所在..... 280

第一節 王化主義と漸澆史観..... 281

第一項 議論の前提

第二項 開化史観と澆薄澆季

第二節 漸澆史観の拡大深化..... 290

第一項 澆薄澆季の偏在

第二項 王化主義の動揺と漸澆史観の公表

第三項 王化主義と漸澆史観の葛藤

第三節 末代観と三時説..... 302

第一項 澆季と像法

第二項 平説の瑕疵

結語..... 309

第三章 平雅行への決疑と諸説への雜節

問題の所在..... 315

第一節 決疑三箇条..... 316

第一条 「法然の教理史的思想史的位置づけ」

第二条 「法然の居所」

第三条 「史料批判の怠慢」

第二節 「興福寺奏状」甲乙二状..... 332

第一項 本解状と重申状

第二項 甲状と八宗同心

第三節 興福寺の訴訟行動..... 339

第一項 興福寺と諸寺

第二項 興福寺の嗾訴と訴訟動機

第四節 源空の言行と『選択集』..... 344

第一項 源空による擬態変装の有無

第二項 『選択集』への思想弾圧の有無